

学校通信

3

2024 MAR.

第 250 号

学校生活における大切なお知らせです

学校長からのメッセージ

3月、卒業の季節。YMCA 学院高等学校本校では約 180 名、連携校では約 60 名の生徒たちが巣立って行きます。入学した頃は不安と緊張でいっぱいの子供たちが本校で安心を得て、それまでのプレッシャーから解放され、自分らしく過ごしてきたこと、卒業まで頑張ってきたこと、卒業生一人一人に心から拍手を送ります。

本校が育みたい生徒像は、①自分を好きになる（自己肯定感） ②想像し、やりたいことを叶える（創造力、表現力） ③多様な人と生きる（共生） ④希望を持って歩む（生きる力、折れない心） ⑤客観的に物事を捉える（批判的思考力）です。これらを指針としてカリキュラムを組んでいます（URL 参照）。

<https://www.ymcagakuin.ac.jp/introduction/message.html>

特に、卒業生には①の“自分を好きになる、自己肯定感をもつ”ことを大切にしてほしい。それはきっと生きるための土台となります。「欠点もあるけど自分が好き、自分らしく生きてみる」そう思えることで一歩が踏み出せます。人間関係でも自身を認めることで人の反応を気にせず、素直に相手の言葉を受け止められるようになります。

今までは学校と家庭の小さな世界でしたが、これからは選択肢がたくさんあります。自分に合う場所は必ずあるので、どこへ進むか自分で決めてください。そのために相談できる人を見つけ、苦しくなってもいつも生きる方を選んでください。本校にも訪ねてください。相談にのれることもありますし、後輩たちのために手伝ってもらいたいこともあります。

保護者のみなさまは、様々な想いがよぎることでしょう。子どもが病気になった日、いじめを受けたと知った日、「学校に行きたくない」と聞いた日は、どれほど胸を痛められたことでしょうか。自身のことでも、仕事と家庭が両立できなかつたり、一人で子育てをしたり・・・と、悩みを抱えながらもこの日まで子どもたちを見守ってくださったことへの感謝の気持ちで一杯です。どうか、これからも一番の応援団長でいてほしいと願っています。

（校長 鍛治田千文）

「あなたの未来には希望がある」（エミリア書 31 章 17 節）





今月の聖句

「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ」

(ルカによる福音書 4章8節)

聖書この言葉は、イエスが悪魔から誘惑を受けて、それを退けられたときに語られたものです。悪魔はイエスに、「あなたが王になれば、人々はあなたに従い、神様を信じるようになるでしょう」と誘惑しました。人々がイエスに従うようになる、そして神様を信じるようになる、それは一見良いことのようにも思えます。そうなれば、イエスが十字架にかかる必要もなくなるかもしれません。

そんな一見良いことのように見えることを、悪魔は囁いてきます。私たちの人間社会で当たり前だと思われること、誰もが素晴らしいと思うようなことを、「あなたがやりなさい」と勧めてくるのです。けれども、人間が考えつかないような、想像をはるかに超えるやり方で、神様は人々の救いを実現してくださるお方です。私たち人間が考え付く良いことは、神様の御心とは違うことがあるということを忘れてはなりません。本当に正しいことを行うために、私たちは神様にいつも祈っていくものでありたいと思います。

(福島義也牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会)

